

「地域探究プログラム全国発表会」

岩手日報記事（R3. 2. 16）より

地域探究プログラム全国発表 雫石高に特別賞

滝沢

雫石町の雫石高（小原由紀校長、生徒75人）の1年生4人は14日、地域活動などの成果を報告する2020年度全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」の全国発表会（国立青少年教育振興機構主催）に出場し、グループ部門で同機構特別賞（4位相当）を受賞した。

滝沢市後の国立岩手山青少年交流の家で、東北ブロック代表の坂下碧さん、袖林愛璃さん、

軽トラ市で茶販売紹介

高橋李恩さん、福田愛沙さんがオンライン中継で発表した。

同校の1年生は20年度、キャリア教育の一環で同町の友好都市・静岡県富士市の茶を「しずくいし軽トラ市」で販売。4人は茶請けとなる砂糖菓子の提供を契機に取り組みを進展させ、郷土菓子の「かまやき」の調理法をインターネットのレシピサイトで発信した。



活動の成果を発表する雫石高の（左から）高橋李恩さん、坂下碧さん、福田愛沙さん、袖林愛璃さん

生徒はスライドを使って一連の活動の成果と課題を7分間で説明した。福田さんは「全国の高校生の発表を聞いて刺激をもらった。来年度も軽トラ市で販売を継続したい」と意欲を示した。発表会は全国6ブロックの2人、6組が出場した。

※岩手日報 2021年2月16日付

※この記事は岩手日報者の許諾を得て転載しています